礼拝ノート

日	年　月　日	聖書	
題		名前	

「この道の先にも」
（創世記 28 章 10 節～22 節）

広瀬　由佳

序）誰にも気づいてもらえない
・誰にも気づいてもらえなかったら、「生きている」実感が得られない。

1）祝福を離れて
・ヤコブにとっての「約束の地」＝“祝福をいっぱいに感じられる場所”
・私たちも“祝福をいっぱいに感じられる場所（状態）”、“戻りたい場所（状態）”があり、そこから遠ざかっていき、「それ（神さまがともにおられること）を知らなかった」という状態になることがある。
・ヤコブは孤独だけでなく無意味さを感じた。約束の地を離れては、長子の権利も父からの祝福の継承も何の意味もない。

2）祝福に気づいて
・地に向かうはしご（正確には階段）は天と地の重なりを示す。神がおられ、神が治め、神が祝福を与える。　※こども礼拝ガイド参照。
・物語には一貫性があり、様々な出来事をひとつの作品としてまとめ上げる。ヤコブ物語の一貫性は「祝福がある」ということ、私たちの物語も同じ。
・「この道の先にも祝福がある」“も”が重要。後ろにも祝福があった。今も祝福がある。それなら、この先も祝福がある。
・祝福をいっぱいには感じられない荒野であっても、そこは天と地の重なる聖なる場所。

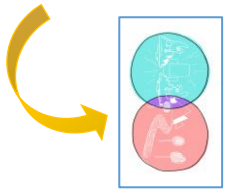
3）祝福を目指して
・ヤコブの旅は二つの見方ができる。①ヤコブの罪ゆえの逃避行、②新しい使命を与えられたヤコブの旅立ち。
・私たちに起こる変化もいろいろな見方ができる。①罪（ずれ、歪み）ゆえの変化、②新しいみわざ。
・祝福を離れていく道のりではなく、祝福を目指していく道のりでもある。約束の地と真逆の方向に向かって行くが、その道は約束の地に神が「連れ帰る」道のりでもある。

結）この道は約束の未来へ
・神とともに歩き続けるならば、その道は約束の未来へ続いている。

名前（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

① 私たちは「みくにがきますように」とお祈りしますが、今日のお話では、どこに、なにが、どんなふうにきていましたか。

（1）どこに？ →
（2）なにが？ →
（3）どんなふうに？ →



左の図の紫色の部分が「みくにがきている」ところです。

② あなたが、神さまが一緒にいてくれると思えるのは、どんな時でしょうか。

③ 神さまはヤコブに約束をしてくださいました（創世記28:13－15）。ヤコブはこの約束を聞いてどう思ったでしょうか。あなたならどう思いますか？

いっしょにいるよ
あなたを守るよ
連れて帰るよ
捨てないよ

（1）ヤコブは？

（2）あなたなら？

みんなで一週間考えてこよう！

～教会クイズ（教理問答）～

Q014　イエスさまはどのようなことを教えられましたか。

A014　神さまを信じることの［　　］［　　］［　　］［　　］と、［　　］［　　］と［　　］［　　］を愛して生きる道を教えてくださいました。

📖ヒント📖　マタイ 5:1-11、マタイ 22:34-40、マタイ 25:31-46、マルコ 8:34-38、Ⅰヨハネ 4:7-12